

広 報

# ふじかわ

1 月号 昭和58年 1月20日発行

No. 258

## 町のメモ

昭和58年 1月 1日現在

人口	16,970人
増減	+ 18人
男	8,387人
女	8,583人
世帯数	4,312世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 総務課



町の今年の目標  
「笑顔であいさつ明るい町に」

町は富士川エー 町は富士川ドドンガドン

NHK「あなたの町から30分」公開収録から

# 慎重な心配りを

## 見直しを徹底し継続事業を重点的に 「新春町政座談会」から

みなさん明けましておめでとございます。今年「亥（い）年」猪といえは昔から「猪突猛進」でたとえられますが、不況、増税に外交問題、社会情勢は相変わらず厳しそうです。しかし、亥年は十二支の最後の年。翌年からは新しく「子（ね）年」にもどります。そこで、今年はその準備としてタネをまく慎重な行動を心がけ、一年間、地道に臨みたいものです。

広報「ふじかわ」でも、昭和58年のスタートとして、広報モニターのみなさんと常葉町長との「新春町政座談会」を1月7日に開きました。今月はその一部を紹介します。

「新春町政座談会」に入る前に常葉町長は次のように昨年を振り返り、また昭和58年に向けての抱負を語りました。

新年明けましておめでとございます。今年猪の年で、本来ならば勢いよく向う見ずに突っ走る



さて、ここで昨年を振り返ってみますと、みなさんご存知のとおり、国鉄富士川橋を中心とした災害が起こり、自然の恐ろしさをまざまざと感じさせられたわけですが、この復旧工事も、現在、順調に進んでいます。また、国道一号線富士川橋を中心とした渋滞問題については、みなさんにご迷惑をおかけしていますが「富士川橋架替促進期成同盟会」を中心に、橋の架替え運動をなお一層強力に進めていきたいと思っています。つぎに、今年の問題について話してみますと、どうしても継続事業的な面のもので多いわけです。その中で一番大きなトピックスといえますか、大きな行事としては長年みなさんに期待していただいていた共立蒲原総合病院が5月1日から当町大楽荘で開院する運びとなったことです。工事も順調に進んでいまして、近く病院本体の受渡しも済むことになっていまして、これが開院しますと、庵原三町と芝川町を含めた四町の地域医療水準の向上のために大いに役立つと思います。ですから、みなさんにも充分利用していただきたいと思ひます。

また、松野の県企業局による宅地分譲事業ですが、昨年末で百割用地買収を完了したということと精力的に行いましたが、年越しで五軒ほどまだ未買収です。しかし3月までには、なんとか買収を済ませ、4月から工事にかかりたいということで、気持ちを新たに進めています。そういう状況ですから、この事業が進んでいるというところをご理解ください。

さらに、県道富士川一身延線バイパスについては、58年度もできるだけ予算を獲得したいと思ひます。しかし、なんといっても関係地主のみなさんのご協力が非常に必要となっているわけで、この機会に特に地域のみなさんに用地買収の促進についてお願いしたいと思ひます。

それから、なんといっても自然環境を良くするということが行政の大きな目的ですので、58年度の新しい事業では、町立第一幼稚園の裏山の児童公園を都市公園にし、58、59年度の二カ年で整備していきたいと考えています。また、昨年から建設にかかっています野田山を中心とした自然公園を、58年度も引続いてさらに整備していきたいと思ひます。

続いて行政改革の問題ですが、今年はまだ議論の年ではなく、実施の段階になっていきます。経費の節減をはかることはもちろんですが、事務事業の見直しを行い、58年度の予算編成をふまえて十分に検討していきたいと思ひます。

# 積極的な行政運営の中にも

## 昭和58年度予算は行財政の

最後になりましたが、一番大きな問題は青少年の健全育成の問題です。都市化が進んでいる市町村では避けては通れない問題であり、残念ながら当町も青少年の非行が増えています。この防止のためには、行政だけでなく、また家庭だけでもなく、学校だけでもなく、それぞれの立場で協力し、非行防止の運動を進めていかなければならないと思ひます。

### 58年度から二年間で

#### 裏山を都市公園に

中沢さん 今の町長さんのお話で今年の事業の内訳はわかりました。お話の中に出てきました裏山を児童公園から都市公園にとか、野田山を自然公園に整備するなどの予算はどの程度なんですか。

町長 今、58年度の予算編成に向け、工事の担当課と財政の担当課でヒヤリングといいますが、調整の段階なので数字の最終決定はしていませんが、野田山の場合です。これは五カ年の全体計画で一億五千万円ですから、一年が大体

三千万円ですね。57年度も三千万円やっていますし、この内、県の補助金が三分の一で一千万円、町費が二千万円です。で、概略ですが裏山の都市公園の場合、担当課から58年度の予算要求が三千万円出ています。これも一年ではなく二年かかりますがね。

中沢さん もう一つうかがいますけど「財政事情の公表」などを見ますと、56年度の一般会計決算で57年度への繰越金が一億四千九百五十九万円と、だいぶ多額だと思



中沢 雅さん

いますが、これはどういう心積りがあって行ったんですか。

町長 一般会計の繰越金ですね。過去のものを見てみますと、55年度が一億四千八百二十八万円、53、54年度が大体一億二千万円ずつです。で、56年度の場合、ある企業の業績が特によかったこともあり、反面、ちよつと税収の見積

### 青少年の非行問題は

#### 社会的要因が大きなウエイトを

天野さん 広報「ふじかわ」に毎月「社会教育からの提言」ということで、青少年問題について宮川先生がお書きになられているんです。町長さんとしては青少年の健全育成について、どのような考え方をしているんですか。



天野恵美子さん

町長 青少年の問題は教育委員会が担当していますが、先に話したように教育委員会だけの問題というのではなく、地域のかかわりあい、総合的に対策をたてないと、非常に解決が難しいじゃないかと思ひているわけです。正直いって、

特別薬はないですね。これをやれば必ずなくなるという。私は青少年の非行問題の中で社会的要因も大きなウエイトを占めると思ひます。家族制度の問題、それと社会全体の問題ですと不良図書とかマスコミ、特にテレビの影響が



出席者

- 植松ゆみ子さん 小山
- 天野恵美子さん 舟山町
- 曾我久子さん 大楽窪
- 中沢 雅さん 本通り四
- 望月洋子さん 南町一
- 久保田豊子さん 清水町
- 常葉 雅文 富士川町長

いろいろあるので、これを総合的にそれぞれの立場で、少しずつでも改善するよう努力する以外ないと思うんです。ただ単にプラカードでデモンストレーションの行進をしたから解決するという問題ではないですからね。それに、家庭で父親の権威がなくなってきたことも大きな問題じゃないかと思うんです。子どもを育てるといっては、母親だけの責任というのではなくて、やはり父親もその責任の大きな部分があるので、どっちが主導権を持った方がいいとかはいえませんが、父親も教育問題について口先だけでなく、ほんとうにしっかりとしてもらいたいと思います。

### 中央公民館の建設 58年は見送り59年以降に



久保田豊子さん

一般的にそういう傾向はあると思います。私も子どもが三人いますし、反省からいいますと中学生になって頭からいってダメですね、やっぱり幼児期の教育でなければ。幼児期に、初歩的な社会常識の範囲内で良いことと悪いことの区別を家庭教育の中で

教える必要があるんじゃないかと思うんですがね。それに、子どもの要望というか、要求を百満してやることは良くないことではないかと思えますよ。我慢することを教えてやることも必要ですね、これからは。

久保田さん 社会教育は非常に幅広いと思うのですが、町長さんが考えている「みんなの幸せのため」ということをお聞かせください。

町長 行政的に考えると、社会教育をやるにはまず人がいるわけですね。いわゆる指導者という講師というか。そういうことで、県から派遣社会教育主事として宮川先生にきていただいています。また、別に教育委員会の職員でなくても、町内にはそれぞれの分野でのベテランがいるわけです。そういう方々のボランティア活動として、人材バンクといいますが、そういう方々を発掘し、人材の養成ですね。つきに場所です。これ

### 老人問題を考えるには 経済と精神の両面から



望月洋子さん

どう考えているかお聞きしたいのですが。

町長 老人問題を考える場合、やはり年金など経済的な面と精神的な面、この両面からみなければならぬと思うんです。富士川町で今年生まれた子どもたちは二百人いないんです。以前は大体三百人以上生まれていたのが、これは、あと二十年後の年金を考えれば、非常に不安になるわけです。それと、日本的な昔からの家族制度の崩壊が進むことにより、い

天野さん 中学生の子どもたちの話をききますと、大人はぼくらが何かをすると、ぼくらの話は聞かないで、すぐお前だろうお前だろうといって決めつけてしまう——そういうふうな決めつけられるのがいやなようです。ですから、県民会議で「他人の子どももしくは運動」というのがありましたが、私からいったら、これはしかるんじやなくて、まずほめるとか言葉をかけてとか、その子と友だちになつてからでは、しかられても、ああそうだなと考えるように思うんです。

町長 中学生の場合、反抗期にある

久保田さん 富士川町には中央公民館がないため、劇団「創炎」なんかは半年も練習した立派な演劇を蒲原の文化センターで毎年公演しているとか、いろいろなサークルが活動の成果を発表する場所がないなどというお話を聞きますと、非常に寂しい感じがするのですが、中央公民館はいつごろできるのですか。

町長 昭和60年を目標とした基本計画の中で、中央公民館は58、59の二カ年で建設することになっているものですが、ないないながらも建設資金を作りまして、56年末までに約三億円の基金をためた

望月さん 58年度の国家予算の原案をみますと、福祉費や教育費がすえ置き、もしくはカットされていますが、これから高齢化社会はますます進むと思うんです。それで、老人問題について町長さんは

### 国一富士川橋の架替えに向け 二市七町で強力な陳情を

ゆる一人暮らし老人が非常に増えてくるんじゃないかと予感がします。そういうことから、こんど老人保健法ができて、成人病の予防を積極的に進めることになりました。庵原三町でも、まだ決定はしていませんが、共立蒲原総合病院に検診車を備えることを検討していますし、町でも積極的にやろうと思っています。

望月さん 今日の朝日新聞に、老人介護の知識をコーチするため4月から厚生省が教室を開設する、という記事が載っていたんです。蒲原病院にもこういう教室が開設され、私たちに知識をアドバイザーするシステムができると思いますね。

町長 良いご提案だと思います。やはり、お年寄りの面倒を見るのは、家族が基本ですからね、中でも婦人のみなさんが。老人の施設を作ったり、寝たきりになったら老人病院に入れれば、それはなるほどいいかもしれませんが、それだけでは解決できないと思いますし、数の問題で老人ホームや老人病院には収容できないと思います。ですから、お互いについていける問題なんです。年齢の問題で、先に話した青少年問題に関係してくるんですよ、親子の愛情っていうか。

曾我さん 昨年、国鉄の富士川橋が流失し、最初は復旧に六カ月くらいかかると思っていたのが二カ月で出来ましたね。ところで、国道一号线の方の架替えはいつごろになるんでしょう。

町長 新しい橋の架替え運動は、富士・富士宮市と庵原三町・芝川町・山梨県の身延・南部・富沢町の二市七町で期成同盟会を作った三年前からやっているんです。それで、昨年、どの位置に架けたらいいかという調査を三カ所くらい県がしたようです。しかし、公共事業がゼロシーリングで伸びのない時期ですから、関係機関に陳情してはいますが、まだ若干時間がかかると思いますね。

曾我さん 大学生なんか地方に就職先がないものだから、都会でそのまま就職し、お嫁さんをもらって、結局、核家族化が進むというのが多いと思うんですね。そういうことで、このようなことが多

少なりともなくなるために工場誘致のお考えはありませんか。

町長 工場誘致の場合、敷地がないと出来ないわけです。そういうことで、富士川地区の場合はほとんど田んぼが工場になってしまっている場所がないですね。で松野地区の場合、まだ田んぼもありますが、町全体を考えると、田んぼを埋め

て工場誘致をした方が良いか悪いか、なかなか難しい問題ですよ。やはり農業との兼ね合いもありますし、松野は松野としての田園的な環境を保全したい気持ちもあるわけですね。そういうことで、今後は山を開発するしかないと思います。で、これはパートの話になります。で、これはパートの話になります。で、これはパートの話になります。で、これはパートの話になります。

植松さん 松野の中野なんかはいつべんに家が建たるので、道路計画などはしっかりしていると思えます。計画などには、他の地区の場合、先をみた都市計画なんかはたっているんですか。

町長 各地区で問題がいろいろありますので、こんど町へ「都市計画審議会」を作りまして、すでに一回目の会合を持ちました。特に問題になっているのは中之郷地区ですね、イハラケミカル工業(株)の前の道路です。あれが都市計画街路ということ、計画ではシズオカヤの前に出ることになっているんです。しかし、十年くらい前に用地買収の関係でいきなり、現在休止しているわけです。ですが、近く蒲原町の方がバイパスからこ



植松ゆみ子さん

### 住みよい町づくりのため 都市計画審議会を発足

町長 住みよい町づくりのため、都市計画審議会を発足させ、各地区で問題がいろいろありますので、こんど町へ「都市計画審議会」を作りまして、すでに一回目の会合を持ちました。特に問題になっているのは中之郷地区ですね、イハラケミカル工業(株)の前の道路です。あれが都市計画街路ということ、計画ではシズオカヤの前に出ることになっているんです。しかし、十年くらい前に用地買収の関係でいきなり、現在休止しているわけです。ですが、近く蒲原町の方がバイパスからこ

植松さん 松野の中野なんかはいつべんに家が建たるので、道路計画などはしっかりしていると思えます。計画などには、他の地区の場合、先をみた都市計画なんかはたっているんですか。

町長 各地区で問題がいろいろありますので、こんど町へ「都市計画審議会」を作りまして、すでに一回目の会合を持ちました。特に問題になっているのは中之郷地区ですね、イハラケミカル工業(株)の前の道路です。あれが都市計画街路ということ、計画ではシズオカヤの前に出ることになっているんです。しかし、十年くらい前に用地買収の関係でいきなり、現在休止しているわけです。ですが、近く蒲原町の方がバイパスからこ

植松さん 松野の中野なんかはいつべんに家が建たるので、道路計画などはしっかりしていると思えます。計画などには、他の地区の場合、先をみた都市計画なんかはたっているんですか。

町長 各地区で問題がいろいろありますので、こんど町へ「都市計画審議会」を作りまして、すでに一回目の会合を持ちました。特に問題になっているのは中之郷地区ですね、イハラケミカル工業(株)の前の道路です。あれが都市計画街路ということ、計画ではシズオカヤの前に出ることになっているんです。しかし、十年くらい前に用地買収の関係でいきなり、現在休止しているわけです。ですが、近く蒲原町の方がバイパスからこ

町長 農道を考える場合、まず背骨を開け、そして枝を出さなければならぬんです。ですから、

町長 どうも本日はありがとうございます。貴重なご意見やご提言、大変参考になり、今後の町政に生かしていきたいと思っております。

町長 農道を考える場合、まず背骨を開け、そして枝を出さなければならぬんです。ですから、



曾我久子さん

町長 農道を考える場合、まず背骨を開け、そして枝を出さなければならぬんです。ですから、

町長 どうも本日はありがとうございます。貴重なご意見やご提言、大変参考になり、今後の町政に生かしていきたいと思っております。

町長 どうも本日はありがとうございます。貴重なご意見やご提言、大変参考になり、今後の町政に生かしていきたいと思っております。

# 国保特別会計への繰出金や 災害復旧工事を中心に

## 一千五百三十万円を補正

町議会の12月定例会は、12月21日（火）午

中心に六百二十二万円を補正、予算総額は四億五千二百六万円となります。

前9時から議場で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和57年度富士川町一般・国民健康保険・水道会計補正予算、共立蒲原総合病院規約の一部を改正する規約について、富士川町長および富士川町議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例についてなど8議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

共立蒲原総合病院規約の一部を改正する規約については、同病院の所在地を蒲原町蒲原一三七番地から富士川町中之郷二五〇番地の一に改めるものです。

昭和57年度一般会計予算は人件費の組換え、国保特別会計への繰出金、災害復旧事業、農業関係事業費などを中心に一千五百三十万円を補正、これに要する経費は町税・国県支出金などを当て、予算総額は二十六億四千六百八十万円となります。また国保特別会計は高療養費、老人保健法に基づく拠出金などを

富士川町長および富士川町議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例については、町長および町議会議員の選挙期間中のポスターのはらんを防ぎ、ポスターの掲示にまつわる違反やトラブルをなくし、公平なポスターの掲示を確保するなどのねらいをもった公営のポスター掲示場を設置するための条例の制定です。

### 一般行政報告

◎共立蒲原総合病院は来年5月1日に開院

建設中の病院も、いよいよ完成に近づき、外装はほとんど終り、内装も順調に進んでいます。今後の予定を述べますと、来年1月中旬に試運転を行い、2月末には受渡し、4月中旬に引越しを済ませ、5月

1日開院——となります。

また、看護学院は12月中旬に受

渡し、残る看護婦寮・医師住宅も3月末に完成を予定しています。さらに、植樹工事も逐次発注されますが、4月26日には県中央植樹祭を同地で行うことも決定しています。この新病院が開院しますと、

◎県企業局の中野宅地分譲事業は

南松野中野の用地については、みなさんのご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。おかげをもちまして、未契約のみなさんは数名となりましたので、なんとか年度末までには全面的に契約をい

◎東海道新幹線富士駅設置促進期

成同盟会がより強力に 富士川流域を生活圏とする地域の今後の発展を期待するため、民間レベルによる二市二町（富士・富士宮市、芝川・富士川町）

◎岩淵一小池下線の平面測量を

町都市計画審議会が発足し、最初の審議会を11月24日に開催、都市計画道路全般にわたる説明を行いました。席上、岩淵一小池下線については今までの経緯の説明と今後の問題などについて検討していただき、将来計画を考えて平面測量実施の答申を得ましたので、

### 職員の変動

1月1日付で町職員の人事異動が次のとおり行われました。

- 課長
- 総務課 野沢 晋
- 税務課 斎藤 操
- 民生課（兼務） 池谷 熊夫
- 総務課付参事 渡辺 勝

58年の町の目標も「笑顔であいさつ——」に

昨年の12月17日「町の今年の目標」実行委員会の総会が役場で開かれ、昭和58年の目標は三年連続の「笑顔であいさつ明るい町」に決定しました。この目標は、予想される東海大地震に対処するため各地区で結成されている自主防災組織のより一層の充実をも含めたコミュニケーションづくりにもふさわしい、というところで選定されたもので、また特に今年は青少年を非行から守り健全育成を重点項目に「まちがえた道を選ぶ青少年」をサブタイトルとしました。

同委員会では今後、ポスターやステッカー、ワッペンなどを作成し、町内各世帯、各地区、各事業所などに配布して、全町内に「町の今年の目標」を浸透させるとともに各種会合を利用して訴えていきます。

### みなさんの善意が二百三万円も

「みんなて明るいお正月を」をスローガンに、昨年12月いっぱい歳末助け合い運動を展開した結果、みなさんから次のような善意が寄せられました。

◎昭和57年歳末たすけあい募金の状況

- 一般世帯（五十二区） 八十四万四千八百五十円
- 団体（五十団体） 百四万四千六百四十九円
- 篤志家（十六人） 十万八千六百五十六円
- 職域（一カ所） 三万七千七百七十八円
- 物品 三万七千七百七十八円
- ティッシュペーパー六十四個（内五百七十九個） タオル四百十八本 石けん九百三十九個

紙おむつ四百枚 その他四点  
◎募金はこう使いました  
町外施設（三十二カ所）・施設入所者（六十一人）へ 四十六万五千円  
町内低所得世帯・在宅障害者（百人）などへ 九十四万三千五百円  
町内五団体・その他へ 六十二万六千八百三十三円  
物品は町内四十九人へ配分

### 一般会計の補正内容

民生費に六百五十四万円

国民健康保険特別会計繰出金 五百七十五万円

農林水産業費に 四百七十八万円

富士川—蒲原線農免調査設計課 課金 百四十九万円

消防費に三百九十九万円  
二小防災倉庫用資機材、消防各

分団用発電機購入費他へ 二百九十七万円

教育費に二百二十一万円

中野遺跡調査費他へ 三十万円

災害復旧費に 四百八十七万円  
富士川—由比線、松野—内房線、根方—中山線、丸崎線災害復旧工事へ 四百五十七万円

の準備会が昭和46年に発足、その後、公的期成同盟会に発展して関係機関への陳情を行ってきましたが、圏域組織拡大の必要から身延・南部・富沢町および由比・蒲原町の賛同を得、組織拡大総会を去る11月22日に開催、新たな組織による関係機関への陳情を強力に推進することになりました。今後は運動費を予算化し、圏域住民のみなさんの意識を高めるとともに、富士駅設置に向けて関係各機関への陳情をより強力に行いますので、みなさんのご協力をお願いします。

◎町ぐるみで青少年の非行防止に万全を期す

今、青少年の非行化が重大な社会問題となっています。特に昨年度から全町をあげて非行防止運動を展開してきたのですが、当町は富士・富士宮市に隣接している関係上、都市化の傾向が進み、なお一層の努力が必要となっているのが現状です。

この対策として、各学校では正しい基本的な生活態度の育成に重点をおき、教師と児童・生徒の一体的姿勢で生徒指導の強化を進めており、また各校PTAは学級懇談会、部落懇談会、校外指導などをとおして協力体制をとっています。さらに青少年健全育成委員会では、生徒自ら非行防止を考えて

もらい標語を募集、横断幕にして町民のみなさんの関心を深めていきます。

最後に、今後とも各団体のご協力、一般家庭の認識を深めるべく部落ちるのとりくみなどにも充分配慮し、働きかけ、対策に万全を期したいと思えます。

◎野田山開発の状況は

本年度計画した公園および遊歩道は大体完了、全体計画の一環としての便所も発注しました。自然を生かしながら、町民のみなさんの憩いの場とする当初の目的は達成されつつあると思っています。来年度は、全体計画に沿って計画していきたくと考えています。今後は道路の維持管理などの問題もあろうかと思えます。

◎総合集会所の昭和58年度建設は見送り

10月30日に総合集会所施設調査委員会の答申を受け、内容を検討しましたが、地方交付税および自主財源の確保について不透明でありまた病院・消防など広域事業への負担金の増加や事務事業の見直しなど諸般の情勢を考慮しまして、昭和58年度建設を見送りたいと思

います。今後につきましては、町財政の範囲内で実施事業の見直しを充分検討して時期を決定していきたいと思えます。また、建設位置および施設につ

# 今年の特テーマ 広報ディスプレイ 年男・年女 今年私は

## 今年目標

### なわとびを一級に

一小五年 植松広之くん

ぼくは今年、いのしし年の11歳です。ぼくの年といつても、まだ将来のことは何も決めてないし、考えたこともありません。家は農家でミカンを主にやっています。ぼくのお父さんは「仕事を手伝えとか、将来は何になれ、勉強しなさい」などは何もいいません。だから、かえってお父さんの仕事を見てみると、たまには手伝いをします。夏休みは「しいたけ」冬休みは「ミカン」の仕事です。このごろは体も大きくなったので、ミカンの入ったコンテナをトラックからおろしたり、運ぶ仕事です。そうすると、お父さんが「お前も大きくなったな」と、ニコニコ顔をするので、ぼくはとてうれいのです。勉強のことも「親にいわれてやるようではだめだ」と



提言者  
中沢公一くん

ぼくは「いのしし年」で、今年中学生です。中学生になったらやるのがたくさんあります。例えば、新しく英語が出てくるのでその英語を好きになり、よくわかるようにしたい。それに、小学生の時には発表してわかっていただけ

ど、中学生になれば書く方が多くなると思うし、成績もはり出すので、がんばってやってみようかなと思わない。クラブもあり、帰りのおそくなる。クラブはたくさんあるけど入部したいようなものは少ししかない。でも、必ず入らなくてはならない。また中学校は三年間、小学校は六年間と、考えてみれば小学校の方が中学校より三年間も長いので、中学校生活はあという間に過ぎてしまうと思う。

ノロノロしていたら、中学校の勉強がわからないうちに高校生ということになってしまおう。そういう中学校生活を、もうすぐぼくはむかえようとしている。今ぼくは、その4月にむかって、卒業文集作り、学年発表会やマラソン大会の練習に力を入れている。ぼくの年「いのしし年」にむかって、どんだんががんばらなくては。

## 水墨画と茶道

### 今年も精進

富町 増井てつさん(1)

いうけれど、今のところお母さんにガミガミいわれてからやります。今年のぼくの目標を「なわとびを一級になるように頑張る」と学校の「風の子」に書いてたら「勉強のことは書いてないね」とお母さんが一言。だから、ぼくは「勉強より健康さ」とえらそうに答えたらニヤリと笑ってうなずいてくれた。こんなのんきなぼくが、前につぶつぶのいのしし年だなんて、にあわないけれど、今年も友だちとたくさん遊んでいきたいと思う。

私の今年の目標は、健康でいられるように毎日の生活に気を配る

した。なんと、姑も亥年生まれでした。猪といえば昔から「猪突猛進」なんて諺で、私たちにあまり大きな声ではいえない干支でしたが、曲がることも止まることも上手にでき、おとなしく可愛げのある動物なのだそう。でも三十六年も付き合っていると、良くしたもので、自分の干支が十二年振りに世に出てくるのがうれいんです。自分の年のことも忘れて、次にくる時にはなんと四八歳になっているのです。その時になつてあわてぬよう、三回目の亥年を節目とし、十二年後、枯女とならぬように、苦しいことも楽しいこともいろいろあると思いが、すべて私に与えられた恵みだと思ひ、自分を養ない知識としていきたいと思ひます。

一口に十二年といいますが去年七五三を祝った娘も、そのころには成人を祝う年になるはず。次の亥年にも姑ともども迎えることができたら幸せだと思います。

## 口だけでなく

### 実行に移す

一小五年 山本武則くん

今年がぼくの年だ。もう六年だし、自分の年なので、下級生のおて本にならなくてはなりません。いつも、やるががおそいけど、りつぱなおて本になり、てきぱき

と仕事をすることができるようになりたいです。

六年生になると、人一倍勉強をやらなくとも、みんなからおくられてしまう。いつも口だけになるので、もっと人にみとめられるように実行したいです。それにサッカーをやっているけれど、そういうならいごともしつかりやりたいです。今年の「いのしし年」は、何でもしつかり自分からやれる一年間になりたいです。

## わき目も振って

### ゆったりした気持ちで

新町 杉山晴子さん(3)

穏やかなうちに亥年も明けました。もう十二年一昔が過ぎてしまったのかと、改めて歳月の早さを感じます。

前回の亥年、私はまだ暢気に青春を謳歌していました。オイルショック前の「消費は美德」などといわれていた時代です。

その後、結婚、出産、育児にともまぐるしく月日は流れ、今年4月に結婚一〇周年を迎え、また下の子どもの小学校入学をひかえ記念すべきことが重なりますが、人生の節目とし、こでもう一度手綱を引締めたいと思います。昨年は少々健康を害し、家族を始め回りのみなさんに心配をかけてしまったので、健康第一を目標

に、猪突猛進も良いけれど、わき目も振って、ゆったりとした気持ちで過ごしたいと願っています。

そして、多少時間に余裕のできた時には、年賀状のあいさつだけに終っている旧友・恩師を訪ね昔話を花を咲かせてみたいものです。

## 健康に留意し

### 己に対して厳しさを

新町本町 吉田盛雄さん(3)

早いもので、この世に生を受けてから三度目の干支を迎えています。一度で良いから悔いの無い一年を送ってみたいものです。

支の時は、早く一人前の仕事をしたいと思つたものだったが、少し仕事を覚えると余分なことに手を出したり、また自重するとやるべきことを控えてしまい「人間、ほほどが肝心」ということを覚えて。去年は、病気やケガで長期入院した家族・知人がおり、健康ほど大切なものは無いと痛感させられた。やはり、人間は健康であつてこそ願望がかなえられるのではないだろうか。まず健康、そして一人では出来ないこともたくさんあるが、他人に迷惑をかけず、自分のことは自分でやる——という当り前のこの二点を今年の目標にして、今年一年を過ごしたいと思ひます。

ということ。食事は一番大切だと思ひますので、調和を考えてととのえます。それに、体をよく動かすことです。

主人と二人暮らしで家事いっさいは私の仕事。それに庭の草取り植木の水やり、少しばかり作っている菜園の手入れ——と、毎日がけつこう忙しいのです。そんな中で、私自身の趣味として、五年前から先生につき水墨画の勉強をしています。町の文化祭にも二回出展し、奨励賞をいただきました。絵を描いていると何もかも忘れ、それに没頭することができま

## 三回目の亥年を

### 人生の節目に

相星町 荒井朋子さん(3)

十二年前の亥年に、亥年生まれの私は、富士川の地に嫁いできま

## 生活・学習・運動

### ぼくの三つの目標

二小五年 渡部道也くん

ぼくには「自覚を持って実行しよう」という、今年の目標があります。この目標は、生活面、学習面、運動面と、大きく三つに分けてあります。

生活面では、今年六年になるので、下級生に何でもしてあげるといふことです。下級生がぼくのいうことを聞いてくれるといいなと思ひています。

学習面では、他の人に負けない気です。という事です。去年のテストなどで、うっかりしていてまちがえてしまったということが多く、他の人に負けてしまったので、このようにしました。

運動面では、自分のためになる運動をやるという事です。これは、いつか父に「何のために運動をしているのだ」と注意されたからです。ぼくはソフトボール・水泳・陸上など何でも挑戦し、運動をすることによってきたえられぬばり強さやがまん強さを勉強やいろいろな生活面に生かすことができるように頑張りたいです。このような目標を今年のくれには、自信を持ってできたといえるように、いっしょうけんめい努力したいと思ひます。

# 2月のテーマ 私の望む町づくり

でも、こんなことも感じます。ぼくが中学生だからかもしれないが、あいさつがしにくいことです。交通安全週間で大人が横断歩道のところに立っています。小学生が元気に「おはようございます」というと「おはよう」と返事が返ってきませんでした。ぼくがあいさつすると、びつくりしたような目で、めずらしそうに見ていました。最近、中学生の非行化が多いということ

歳末助け合い運動にご協力をお願いします——ぼくたち一中学生徒会はボランティアで二日間街頭募金を行いました。何かめずらしい物でも見るような目付きで見ると見ました。迷惑そうなのもいました。けれどもだいたいの方が募金し、はげましてくれた人もいたほどです。その時、この町はあたたかい町だなと感じました。



- ◎2月のテーマ  
私の望む町づくり
- ◎対象者  
富士川町民ならどなたでも
- ◎字数  
四百字づつ原稿用紙一枚以内。
- ◎締切り日  
2月7日(月)まで
- ◎投稿先・問合せ先  
富士川町役場・総務課  
岩淵二一番地
- ◎注意事項  
匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記してください。

# お年寄りの医療費が 2月1日から一部有料に

## 医療の対象者

老人保健の医療は、七〇歳以上の加入者のみならず、六五歳以上七〇歳未満で寝たきりなどの状態にある医療保険の加入者のみなさんが対象となります。ただし、六五歳以上七〇歳未満のみならず、六五歳以上七〇歳未満のみなさんについては、あらかじめ寝たきりなどの状態にあるという町長の認定を受けなければなりません。

なお、今までの老人医療費支給制度では、お年寄りやその家族のみなさんの所得が一定額以上あるときは対象とならず、町単独老人医療制度に該当していましたが、新しい制度では所得に関係なく、すべてのお年寄りのみなさんが老人保健で医療を受けることができようになります。

## 健康手帳の交付

医療は七〇歳の誕生日または寝たきりなどの状態にある旨の認定を受けた月の翌月（認定を受けた日が月の初日である場合にはその月）から開始されます。そして、今までの老人医療費支給者証の代わりに健康手帳が交付されます。これは医療の受給資格を証明し、医療と日常の健康管理に役立たせるために健康診断などの結果を記録するものです。

本格的な高齢化社会の到来を前に、今後、私たち国民の老後の健康をどのように確保するか――政府では二〇数年にわたり検討を続けてきました。そして、この2月スタートする「老人保健制度」はこのような検討の結果生まれた全く新しい制度です。老人保健制度は、壮年期からの総合的な保健対策を推進し、私たち国民が健康な老後を迎えられるようにすることにも、お年寄りの医療費を国民が公平に負担することを主なねらいとしています。

そこで今回は「老人保健制度」の主な内容をまとめてみました。

## 医療を受けるには



## 社会教育からの提言 成人と生き方

一般に成人とは、満二〇歳の年齢に達した人のことをいう。したがって、先日成人式を終えた若者も我々と何ら変りのない成人である。一方、両者の間には、人生における経験の深さという異ってしかるべき点があることも事実である。一時代前のそれは、世の中の進行が遅々としており、経験はイコール人生の深さとして通用し、職場において若者を指導する際にも、人の世のしくみを教えるにも、地味でいたし、それらが若者をして「なるほど」と素直に受けとめさせるだけの説得力と価値を持っていたものだ。つまり、経験した教訓が、時代の歩みと即応していたともいえる。だが、現代社会は発展の度が極めて急テンポであるから我々成人が苦勞し、蓄積してきたはずの尊い経験が、社会のテンポに即応せず、生きて働かないことがままあり、このことは成人年代が古いほど多いものである。この違いが若者からすれば、人生における先生は雑誌であり、テレビやラジオであっても、親や先任、会社の上司ではないという

結果を生ずる要因にもなっている。その現象は、いいかえれば時代の流れに苦もなく乗った若者が、川の岸辺近くを遅々として流れる大人にあいそをつかし、見放したといえなくもない。

親と子、教師と生徒、上司と部下の間における信頼関係の隔りもそうしたところに端を発しているのかも知れないと思うのである。私たち大人は、人生の経験を今の時代に生きて働かせるために、どのような生き方をすべきなのか、体験した部分のどこを補足し、どこに新しく息をふき込むかを、模索しなくてはならない。そのため、時代の流れ、時代感覚、進歩の度合と方向性を謙虚に見つめ、若者が苦もなく生きていく環境に、積極果敢に挑戦し、自らをそうした流れに浸らせる中で、新しい経験と思考の積み上げをはかる。そうすることが、これからの成人の生き方になるのではなからうか。私たち大人は、人生の中軸先導者とし、先ず自信のある歩みを続けなくてはならない。

役所の隣室で若者がマイコンの話をにぎやかにしている。我々も遅れまい。

## 医療の給付

老人保健の医療は、健康保険や国民健康保険を取り扱っている病院、診療所または医師の処方せんにより医薬品を販売、授与する薬局で受けることができ、医療の給付は健康保険の場合と同様です。

## 費用の一部負担

これまでの老人医療費支給制度では、ややもすれば健康に対する自覚を弱め、行き過ぎた受診を招いていたといった問題が指摘されてきました。そのため、お年寄りのみなさんに健康への自覚を持っていただき、適切な受診をお願いするという見地から制度化されたものです。

外来（通院）で診療を受ける場合には、その月の最初の診療日に

四百円の一部負担金を医療機関に支払うこととなります。また総合病院の場合には、各診療科を一つの医療機関としてみなしますから、原則として各診療科ごとに支払うこととなります。

一方、入院時の一部負担金は、一日当たり三百円です。ただし、同じ病院または診療所に継続して二ヵ月（健保・船保・日雇・共済の被保険者本人の場合五十日）を超えて入院したときは、その後は何日入院しても支払う必要はありません。

## 保健サービス

老人保健制度では、壮年期以降の病気の予防からハビリテーションまでの一貫した保健サービスを行います。

お年寄りの病気には、高血圧・脳卒中・心臓病など慢性的なものも多く、治りにくいという特徴があります。ですから健康で平和な

老後を確保するためには、ふだんからの健康管理が大切です。

こうした健康づくりは、一人ひとりが自分の責任で行うことが大切ですが、それと併せて制度的にも適切な保健サービスを受けられるようにすることが必要です。このため、四〇歳以上のみなさんを対象として、町が健康相談や健康診査（循環器系の病気とガンを中心に年一回行う）機能訓練、訪問指導（寝たきりの人を対象に食事や療養などを指導）など各種の保健事業を行います。

どんなに若々しく健康な人もいつかは老後を迎えなくてはなりません。病気をしたくないというのは、すべての人の願いです。しかし、病気が全く無縁の老後はなかなか考えられません。この新制度のスタートをきっかけに、私たち一人ひとりが、健康な老後を迎えられるよう「健康づくり」に関心を寄せたいものです。



## 資料・東海地震 ⑥

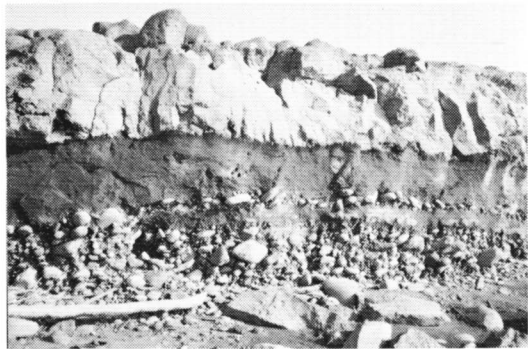
### 富士川河原の溶岩露頭

東大地震研 恒石幸正

国道一号线の富士川橋から下流をみると、河原に黒くてゴツゴツした感じの岩石が広がっているのに気がきます。橋の下にもありますし、水神社下にも同じ岩が続いています。この岩石は今から一万四千年ほど前に富士山から流れてきた溶岩で「大淵溶岩」とよばれています。

河原に降りて近づいてみると溶岩は黄色の砂層の上のつており、砂層の下には礫層があります。溶岩に接した部分の砂は黒くなっています。よく探してみると、木炭のかけらがみつかります。昔河原の砂地のところに草やかん木が生えていて、そこへドロドロにとけた熱い溶岩が流れてきたのです。

富士川橋の上からみた溶岩は、下流へ向けてV字形にひらいた形をしています。これは、もと平であった溶岩流が地殻変動によって馬の背のように曲げられ、高い部分が削りとられてしまったのが



富士川河原に露出する大淵溶岩

# 戸籍の窓

57・12・1〜12・31届出  
(敬称略)

## おめでた

区名	氏名	保護者続柄
相生町	齋藤 由季	弘幸 二女
旭町	深澤 悦子	正 長女
〃	山本 裕樹	邦万 長男
堺町	伊東 大喜	靖高 長男
〃	渡邊 裕子	信和 長女
宮町	長野多加志	静司 長男
本通四	清水 直美	正美 長女

幸町	石本 明子	俊秀 長女
東町二	天野 歩	正雄 長女
〃	佐野ゆう子	文計 長女
南町一	望月 幸明	政信 二男
〃	富士松野 岩岡 潤	優 二女
〃	明谷 梨絵	眞良 二女
大北町	天野 哲也	正明 長男

## かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	榎本さか	八一
〃	佐野竹治	六五

## 一里塚



地球誕生から現代までを一年に縮めたとする、人類の出現は三百六十五日目の終る十分前にしかならないそうである。そんなことは小学生でも知っているといわれそうだが、はじめて知って何か背筋が寒くなる思いがした。

さて、正月もずい分変わったものだ。独楽まわしや羽根つきは見たことがないし、凧上げにしてもトビのようにフワフワしたものが浮んでいてだけで、糸が風を切って、勢いよく凧が水をくむ(大きく凧

が孤をえがく)風景などはどこにもない。もつとも、地面はコンクリートやアスファルトが多く、道路には車があふれ、凧を上げたくても、電線や建物が多い現在では、遊ぶ場所を捜すにも、現代つ子と同じように、ホネが折れやすいのかもしれない。

遊びといえば、二年ほど前の正月には、ルービックキューブを猫もしゃくしも持って、カチャカチャやっていたが、今ではゲームウォッチが大はやり。次はパソコンとかで、益々エスカレート。

高価な玩具で遊ぶのは大人でも楽しい。でも、それは何かと寂しいものではないだろうか。なぜな



相生町	藤沼竹夫	七三
〃	金刺 昂	五三
坂下	深澤千代子	七一
堺町	小笠原さか	八七
〃	小永井よね	九二
新町	堀 慎二	五三
〃	小笠原喜平	七六
新町本町	保坂とく	六二
本通一	森 よし江	五九
本通四	渡邊ふさ	八三
清水町	村上さち	八六
〃	久保田治重	七六

## おかあさんの知恵袋

知恵袋

今月は「石油ストーブ」について調べてみました。部屋の保温を工夫し、その上に適温を保てば燃料節約になります。

### ◎暖房は適温ですか

二十二〜二十三度が目安です。温度を二度下げると燃費は一五〜三〇節約でき、一日五時間二度下げると一カ月で一十四十円の得。

### ◎カーテン・すき間風の防止・雨戸を締めるなど部屋の保温工夫をしていますか

一日五時間工夫すると一カ月で一十四十円の得。

### ◎陽ざしを利用して早目に戸を締めますか

寒い時は早目に戸を締める。一平方メートルの窓ガラスから入る太陽熱は一キロワットの電気ストーブと同じ。また窓ガラスをみがくのも効果あり。一日五時間で一カ月一千八十・六円の得。

### ◎小まめに消していますか

就寝三十分前にストーブを消しても温度は変わらない。その上、火災予防にもなる。三十分前に消すと一カ月で三百十二円の得。

以上の四つを守ることで、あなたの家庭も一カ月に三千四百七十三・六円燃費が節約できます。家庭を守る主婦のみなさん、一度試してみませんか。



文協俳句会

- 宮町 増井 冬木
- 初風呂や湯煙り富士を見え隠す
- 大北町 天野 たま
- 覚めて聞く雨音はげし年語る
- びやくだんの厨子の香れり初明り
- 南町 法月 幸子
- 隠れ里に地蔵とマリヤ冬ぬくし
- つなぎ手の胸元小春道祖神
- 南町 影島 智子
- 陽の溢る一畝百の大根穴
- 外は雪御持仏さまを磨き上ぐ
- 南町 木伏 八子
- 愚痴を聞くことも付き合ひ寒に入る
- 南町 田辺つぎ子
- 農具みな納屋に休ませ冬隣
- 旭町 笠井みち子
- 縫ふ事は読むに通じぬ一葉忌
- 清水町 宇佐美裕子
- 晩学をつまづき勝ちや隙間風
- 南町 宇佐美幸子
- 一合の酒に夜長の高いびき
- 南町 上野みつ子
- 水澄みて葵田溪をうづめけり
- 南町 上野 君江
- ひと冬を重なりつまる種の芋
- 本通り 古木喜久恵
- もらい柚子一つ湯ぶねにはのぼると
- 南町 望月 洋子
- 驚が輪を描がく一村冬ざるる